

## ワイズグローバルビジョン 高性能小型ろ過機



### 水道引かずに飲料水確保

現場できれいな水を潤沢に使いたい。そんな要望に応えたワイズグローバルビジョン(沖縄県うるま市、柳瀬善史社長)の高性能ろ過機が販売台数を伸ばしている。もともとは船舶をターゲットに海水を飲料水レベルにまで浄化する装置を販売していた。建設現場に小型のろ過機を提案したところ、水の確保に悩んでいたニーズにマッチ。新型コロナウイルスの感染拡大に伴う手洗い習慣の定着も追い風になっている。



コンパクトサイズで、女性でも扱える

同社が展開する小型海水淡水化装置「MYZ」シリーズは、高い浄水力と持ち運びに適したコンパクトな

量で女性でも扱える。淡水、海水の両方で使用が可能。海水の場合は1時間程度で約40リットルを浄化できる。2017年に小型サイズの商品にラインアップ。その後18年から土木現場をターゲットに営業活動を展開し採用実績を伸ばしている。19年度の土木現場での採用実績は40件程度。今年3月には国土交通省の新技術情報提供システム(NETIS)に登録された。

サイズが特長。四つあるサイズのうち最も小さいタイプは幅650ミリ、奥行き450ミリ、高さ400ミリと小型のキャリーケースほどの大きさだ。従来のろ過機だと設置場所に悩むような狭小現場でもスペースを気にせず設置でき、比較的軽

### 手洗い習慣定着でニーズ拡大

要も見込まれている。シャワーユニットにつながることも可能。あるゼネコンの役員は「シャワーがあるなど水を豊富に使える現場はグレードも高くなる」と評価する。

浚渫工事や河川工事の現場にろ過機を置くことで、海や川から直接水を引いて浄化し、清浄な水を潤沢に使えるようになる。水道を引いていない現場では人力で水を入れたポリタンクを運搬するケースが多い。ろ過機を導入することで水の

一方で河川工事の現場は工期が比較的短く、コストパフォーマンスの観点から現場に水道を引かないケースが多いという。「河川工事の現場は水の確保に不自由しており、ニーズが見込める」(柳瀬社長)とみる。

今後は3年以内に1000台の販売を目指す。「多くの人は、ろ過機は大きくて現場に置けないものだと思っている。当社の小型のろ過機を広く知ってもらい、現場に採用してもらいたい」と柳瀬社長は意気込む。



シャワーユニットにつながることも可能